

## RD-6

Analog Drum Machine with 8 Drum Sounds,  
16 Step Sequencer and Distortion Effects

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前の良にお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

**法的放棄**

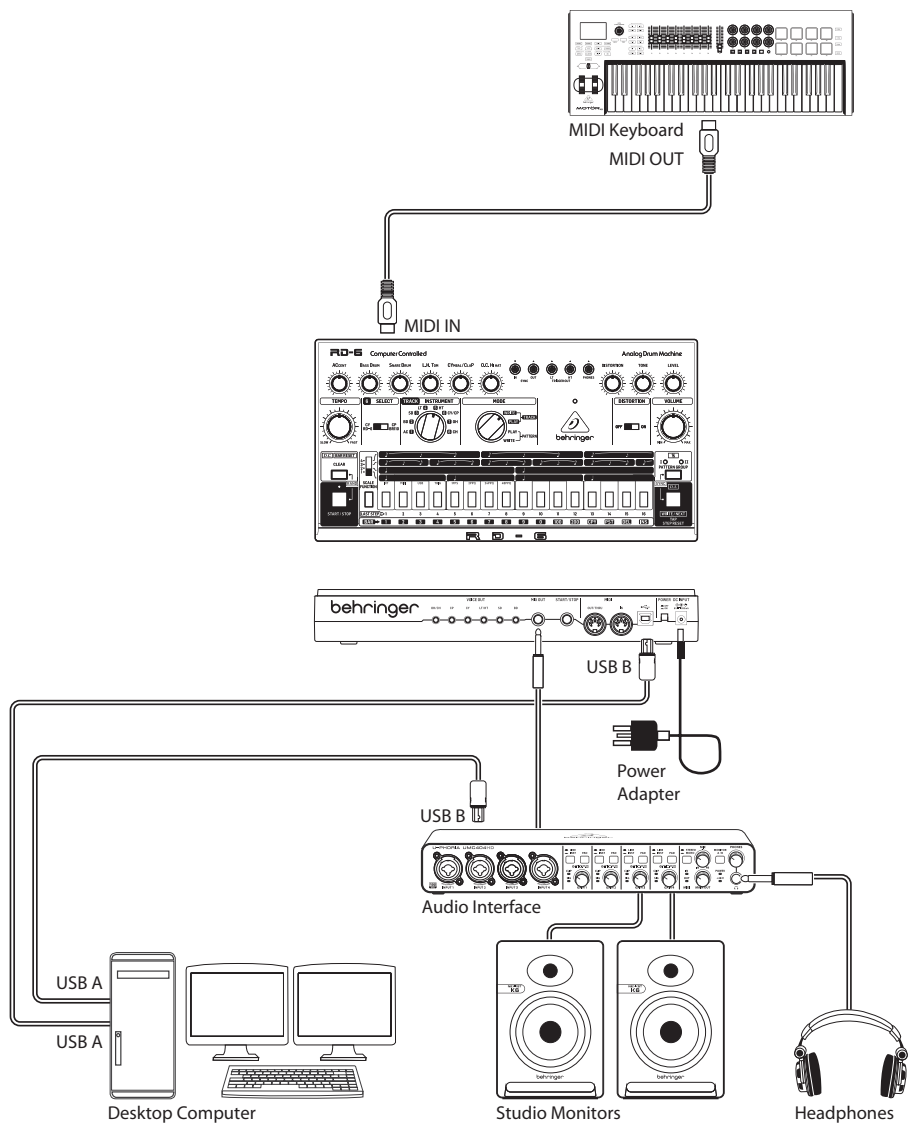
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2020 無断転用禁止。

**限定保証**

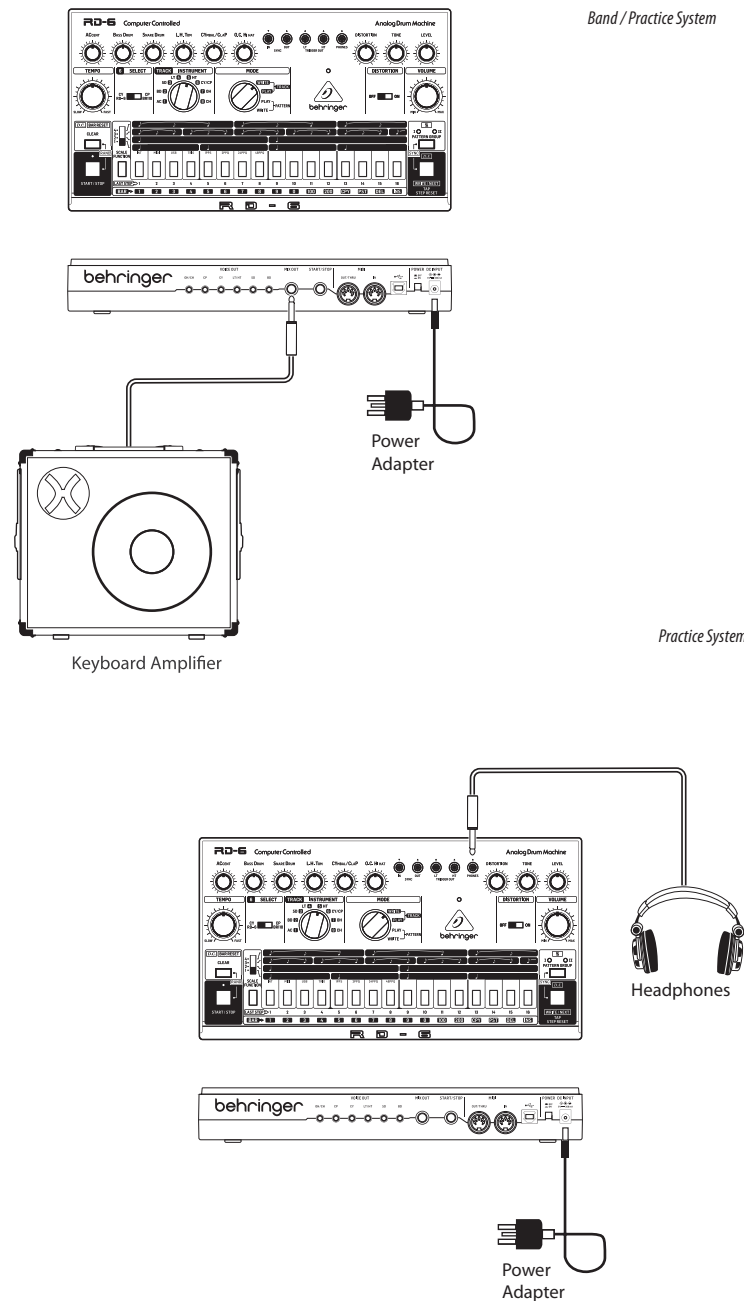
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [musictribe.com/warranty](http://musictribe.com/warranty) にて詳細をご確認ください。

JP

### Studio System

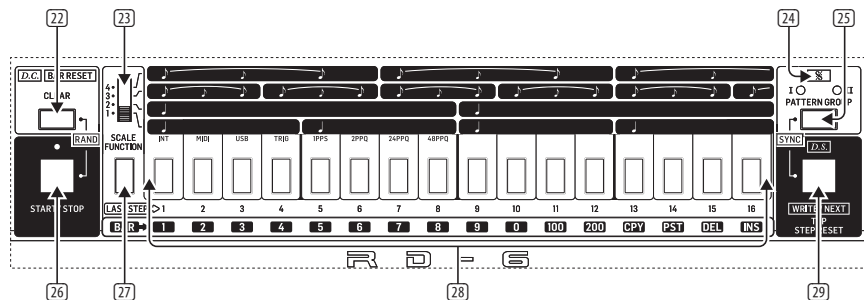
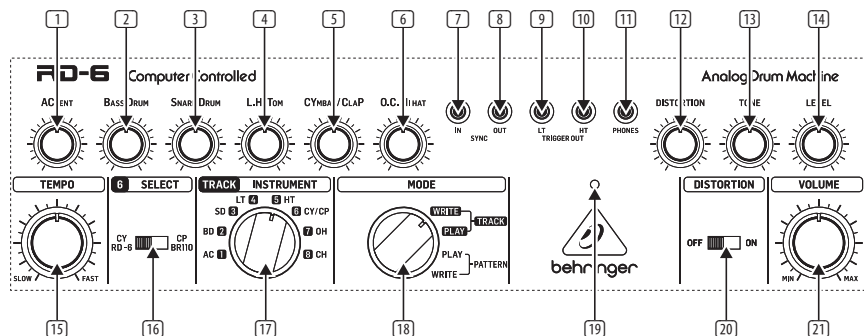


*Band / Practice System*



# RD-6 コントロール

## ステップ 2: コントロール



## RD-6 コントロール

れているように、何ステップに分解するかを決定します。

- [24] **PATTERN GROUP (パターングループ) インジケーター** – MODE (モード) の位置によって、パターンII、いずれかのパターングループインジケーターが点灯します。
- [25] **PATTERN GROUP (パターングループ) – MODE (モード) セレクター**の位置および、本装置が走行中か停止中かによって、異なる振る舞いをします。
- [26] **START/STOP (スタート/ストップ)** – パターンおよびトラックのプレイ/停止をします。プレイ中は LED が点灯します。
- [27] **FUNCTION (機能)** – パターンおよびトラック書き込みの際、複数の用途で使用する、多目的スイッチです。
- [28] **STEP SELECTOR (ステップセレクター)** – MODE セレクターの位置および、本装置が走行中か停止中かによって異なる作用をする、16 個のボタンです。
- [29] **TAP (タップ)** – MODE セレクターの設定および、本装置が走行中か停止中かによって異なる作用をします。

### 背面パネル

**注意** - ボイス出力のいずれかにジャックを挿入していると、そのボイスがミックス出力から除外されます。

- [30] **OH/CH VOICE OUT (オープンハイハット/クローズドハイハット ボイス出力)** – オープン/クローズハイハットの、 $\frac{1}{8}$  インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- [31] **CP VOICE OUT (クラップボイス出力)** – クラップの  $\frac{1}{8}$  インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- [32] **CY VOICE OUT (シンバルボイス出力)** – シンバルの  $\frac{1}{8}$  インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- [33] **LT/HT VOICE OUT (ロータム/ハイタム ボイス出力)** – ロータム/ハイタムの  $\frac{1}{8}$  インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- [34] **SD VOICE OUT (スネアドラム ボイス出力)** – スネアドラム の  $\frac{1}{8}$  インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- [35] **BD VOICE OUT (バスドラムボイス出力)** – バスドラムの  $\frac{1}{8}$  インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- [36] **MIX OUT (ミックス出力)** –  $\frac{1}{4}$  インチ (6.35 mm) アンバランス ミックス出力です。
- [37] **START/STOP (スタート/ストップ)** – フットスイッチを接続し RD-6 をスタート/停止する際に使用する、 $\frac{1}{4}$  インチ (6.35 mm) 接続端子です。
- [38] **MIDI OUT/THRU (MIDI出力/スルー)** – 外部 MIDI 機器

へ MIDI データを出力/または MIDI 入力からのデータをダイレクトに別の機器へとチェーンする端子です。

- [39] **MIDI IN (MIDI入力)** – シーケンサーや DAW などの外部 MIDI 機器より MIDI を入力する端子です。
- [40] **USB** – コンピューターに接続し、アップデートや、USB MIDI DAW の制御に使用する端子です。
- [41] **POWER (電源)** – リズムデザイナーのオン/オフをおこないます。必ずすべての接続を完了してから、ユニットの電源をオンにしてください。
- [42] **DC INPUT (DC 入力)** – ここに付属の 9V DC アダプターを接続します。電源アダプターは、100 V - 240 V、50/60 Hz に対応した AC コンセントに接続してください。必ず、付属の電源アダプターのみをご使用ください。



# RD-6 はじめに

## ステップ 3: はじめに

### 概要

本スタートガイドでは、RD-6 アナログリズムデザイナーのセットアップ方法解説および、機能の簡潔なご紹介をいたします。

### 接続

RD-6 をお使いのシステムに接続する際には、本マニュアル冒頭の接続ガイドをご参照ください。

### ソフトウェア セットアップ

RD-6 は USB クラスコンプライアント MIDI 機器ですので、ドライバをインストールする必要はありません。RD-6 を Windows および MacOS で使用する際、いかなる追加ドライバーも不要です。

### ハードウェア セットアップ

お使いのシステム内の接続をすべて済ませます。接続をおこなっている間、RD-6 の電源はオフのままにしておいてください。

必ず RD-6 に付属の電源アダプターをご使用ください。サウンドシステムの電源がオフになっていることをご確認ください。

RD-6 の電源をオンにしてから、パワーアンプリファーマをオンにし、電源を落とす際は、RD-6 を最後にオフにします。そうしていただくことで、スピーカーのポップノイズやボンというノイズの発生を防ぎます。

### ウォームアップタイム

レコーディングやライブパフォーマンスの前に、ぜひ 15 分以上のウォームアップタイムを設けてください（温度の低い場所から運び込んだ場合は、さらに時間を延長してください）。それにより、精密アナログ回路が通常使用温度に達する時間を確保できるため、精確な性能を発揮できます。

### 同期 (SYNC) およびクロックタイプの設定

ステップキー 1、2、3 または 4 はそれぞれ、クロックソース INT (内部)、MIDI、USB、または TRIG (トリガー) に対応します。

ステップキー 5、6、7 または 8 はそれぞれ、クロックレート 1PPS、2PPQ、24PPQ、または 48PPQ に対応します。

1. Function (機能) ボタンを押します。
2. シーケンスをプレイ中でないことをご確認ください。
3. PATTERN GROUP (パターングループ) および WRITE/NEXT (書き込み/次) ボタンを同時に押し、同期 (シンク) 設定モードに入ります。
4. セレクター 1-8 の LED が点灯し、現在のクロックソース (1-4) およびクロックレート (5-8) が点滅します。3 秒以内に變更をおこないます。
5. ステップキー 1、2、3 または 4 を押して、各クロックソース INT、MIDI、USB または TRIG に変更します。
6. ステップキー 5、6、7 または 8 を押して、各クロックレート 1PPS、2PPQ、24PPQ または 48PPQ に変更します。
7. 他のボタンを押すか、その後變更をおこなわずに 3 秒間が経過すると、變更が保存されます。
8. 選択した設定を確認するには、ステップ 3 を繰り返します。

### MIDI チャンネル選択

FUNCTION (機能) ボタンを長押ししながら、PATTERN GROUP (パターングループ) を押し、MIDI チャンネル設定モードに入り、ステップキー 1-16

を押してチャンネルを選択し、PATTERN GROUP を押して MIDI トランスミット (出力) および受信 (入力) を切り替えます。

### パッチベイ部

パッチベイ部を使用し、別のユニットやモジュラーシンセサイザー機器に接続して、多彩なサウンドを創造することが可能です。接続には標準 3.5 mm TS を用い、ボルトゲージ定格は仕様表に記載されています。RD-6 はここに接続をしなくても動作しますが、この部分はお使いのシステムの拡張に利用します。

**警告:** 3.5 mm 同期入力、過入力にならないようにしてください。

本装置は、仕様表に記載の電圧レベルにのみ厳格に対応します。3.5 mm 出力は、出力電圧に対応した入力端子にのみ接続してください。この指示に従わない場合、RD-6 や外部ユニットに損傷が生じる恐れがあります。

### ファームウェア アップデート

定期的に当社ウェブサイト [behringer.com](http://behringer.com) をご訪問いただき、Behringer Synth Tool アプリのアップデートをご確認ください。

アプリケーションは最新のファームウェアファイルを探知し、ダウンロードして、RD-6 のアップデートをおこないます。Synth Tool アプリは RD-6 の設定変更の一部にも使用します。

### パターンの書き込み

1. PATTERN WRITE (パターン書き込み) モードを選択します。
2. ステップキー 1-16 のいずれかを選択します。
3. START (スタート) を押し、

4. デフォルトのパターン長は 16 ステップです。エンドパターンポイントの設定は、FUNCTION/LAST STEP (機能/最終ステップ) を長押しし、パターンを終了するステップキーを選択しておこないます。
5. コントロールでプログラムする、インストゥルメントを選択します。
6. インストゥルメントを鳴らすタイミングのステップを選択するか、TAP (タップ) ボタンを使用して、リズムをリアルタイム入力します。
7. 他のインストゥルメントについても、ステップ 7 を繰り返します。パターン書き込みを終了するには、STOP (停止) を押します。

### パターンプレイモード

PATTERN PLAY (パターンプレイ) モードでは、ステップキー (1-16) を押して、プレイするパターンを選択します。PATTERN GROUP (パターングループ) ボタンで、2 つのパターンバンクを切り替えます。プレイ中にパターン書き込みモードに切り替え、リアルタイム編集をおこなうことも可能です。

### パターンチェイン

PATTERN WRITE/PLAY (パターン書き込み/プレイ) では、最初のパターンを長押ししながらチェインの最後のパターンを押すことで、最大 16 パターンで構成されるグループにすることが可能です。これにより、最大 256 ステップを、1 つの連続シーケンスとしてプログラムできます。

### トラック書き込みモード

トラックを 1-8 より選択します。CLEAR/BAR RESET (消去/リセット) ボタンを押して、トラックの頭に戻ります。RD-6

のプレイを開始し、任意のパターンを選択して、WRITE/NEXT (書き込み/次) ボタンを押し、次のパターンを選択して WRITE/NEXT ボタンを再度押します。最後のパターンの後に CLEAR (消去) ボタンを押し、それから WRITE/NEXT ボタンを押します。これにより、最後のパターンが選択されていることをシーケンサーに通知します。

### TAP (タップ)

本ボタンは、MODE (モード) セレクターの設定および、本機器が走行中/停止中であるかによって機能が変わります。

PATTERN WRITE (パターン書き込み) モードで走行中の場合、リアルタイム タッププログラミングをおこないます。

PATTERN PLAY (パターンプレイ) モードで走行中の場合、TAP ボタンは STEP RESET (ステップリセット) ボタンとして動作し、ただちに、現在のパターンの最初のステップから再開します。

TRACK PLAY (トラックプレイ) または TRACK WRITE (トラック書き込み) モードで停止中の場合、TAP ボタンは、選択しているトラックを 1 小節前に進めます。

TRACK PLAY (トラックプレイ) で走行中の場合、Tap ボタンを押すと、ただちにトラックを、マークを設定してある小節に戻し、そこから通常通りにプレイ継続します。

TRACK WRITE (トラック書き込み) モードで走行中の場合、Tap ボタンを押すと、WRITE/NEXT (書き込み/次) として機能し、現在聞こえている LED インジケータが点灯しているパターンをトラックメモリーに書き込み、それに応じて割り当てられた小節番号を先送りします。

RD-6 はじめに

ステップ 3: はじめに

このWRITE/NEXT (書き込み/次) 機能は、パターンユニット全体に適用されます。もし、Tap ボタンを使用してチェインドパターンをトラックに書き込んだ場合、小節番号は、チェインドパターンに含まれる小節数だけ先送りされます。

ランダムパターン

PATTERN WRITE (パターンライト) モードでは、パターンのプレイ中であっても停止中であっても、CLEAR (消去) および START/STOP (スタート/ストップ) を同時に押すことで、ランダムパターンを生成します。

**注意:** 現在選択中のパターンが上書きされます。

トリガー出力

RD-6 には、2 つの独立した、プログラマブルな TRIGGER OUTPUTS (トリガー出力) が装備されています。これにより、他のシンセサイザーやシーケンサーなどと接続できます。各トリガー信号は、いずれも外部機器のトリガーまたはゲート入力に適した 15V の正パルスです。

Behringer MS-1 のようなシンセサイザーは、自身のオシレーター (発振器) を処理するため、ゲートされています。トリガーは、シンセサイザーのアルペジオのリズムおよびレート制御にも使用します。

2 つの TRIGGER (トリガー) 出力は、ロータムまたはハイタム位置にプログラムしたリズム、Track/Program (トラック/プログラム) セクターおよびプログラミング で決定されるリズムに対応します。

これらのインストゥルメントは TRIGGER OUT (トリガー出力) と同時使用もできますし、 また TRIGGER OUT で使用する目的でリズムをプログラムし、各 INSTRUMENT MIX LEVEL (インストゥルメントミックスレベル) コントロールで消音する使い方もできます。

技術仕様

Voices	
Number of sounds	8
Type	Analog
Number of simultaneous voices	8
Voice controls	
Accent	Level
Bass drum	Level
Snare drum	Level
Low tom, hi tom	Level
Cymbal, clap	Level
Open hat, closed hat	Level
Connectivity	
Power input	DC input connector
Power switch	Push button on/off
USB (MIDI)	USB 2.0, type B
MIDI In, Out / Thru	2 x 5-pin DIN
Start / stop	1 x ¼" TS
Mix out	1 x ¼" TS, unbalanced, 1 kΩ impedance
Voice out	6 x ⅛" TS, unbalanced, 100 Ω impedance
Sync in / out	2 x ⅛" TRS (Tip is clock and Ring is the start message) more than: 2.5 V
Trigger outs	LT and HT 2 x +15 V, 1PPS/24PPQ/48PPQ 50% pulse length, 2PPQ narrow pulse length.
Phones	1 x ⅛" TRS, stereo, 15 Ω impedance

USB	
USB	Class compliant USB 2.0, type B
Supported operating systems	Windows 7 or higher Mac OS X 10.6.8 or higher
Pattern / Storage	
Capacity	2 x 16 patterns
Steps	16 steps
Power Requirements	
External power adapter	9 V DC, 670 mA
Power consumption	2 W max.
Indicator	Power LED
Environmental	
Operating temperature range	5°C – 40°C (41°F – 104°F)
Physical	
Dimensions (H x W x D)	56 x 305 x 165 mm (2.2 x 12 x 6.5")
Weight	0.9 kg (2.0 lbs)
Shipping Weight	1.6 kg (3.5 lbs)

## MIDI information

### MIDI message

	Status	Second	Third	Parameter	Description
Channel Message	8n	kk	vv	[0, 7F]	Note Off
	9n	kk	vv	[0, 7F]	Note On
	Bn	7B	—	—	All Notes Off
SysRT	F8	—	—	—	Timing Clock
	FA	—	—	—	Start
	FB	—	—	—	Continue
	FC	—	—	—	Stop

Voice	MIDI Note No.
Bass Drum	36, 0x24
Snare Drum	40, 0x28
Low Tom	45, 0x2D
Hi Tom	50, 0x32
Clap	39, 0x27
Cymbal	51, 0x33
Open Hat	46, 0x2E
Closed Hat	42, 0x2A

### Examples

Function	Command <sup>(1)</sup>
Note on	90 3C 64
Note off	80 3C 40
All notes off	B0 7B

Note: 1, MIDI input channel 1.

## その他の重要な情報

### 1. ヒューズの格納部 / 電圧の

**選択:** ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

**2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くになくときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

**3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You